

## 追悼のごとば

令和三年一月の拝礼式を執り行うにあたり 戦没者の皆様に謹んで追悼のごとばを申し上げます。

皆様の祖国は おだやかに晴れわたった元旦を迎えましたが、新年早々中国発生の新型コロナウイルスの感染拡大防止への厳しい闘いになっています。年取った者と若い者との生活・考え方の相違からか、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない状況にあります。

天皇陛下は一般参賀の代わりに 国民の健康と命を案じ 初めてビデオでお言葉を述べられました。

皆が互いに思いやりを持って助け合い 支え合いながら 進んで行くことを願います」

希望をもつて歩んでいくことのできる年になることを心から願います」  
と 語られました。

我々遺族がご英霊の心を糧に 戦中戦後の厳しい社会・経済状況の中で平和で豊かな未来を見据え 日本国民全員で心を合わせ 支え合い 助け合いながら生きてきたことを振り返ると 必ずや克服でき 希望のある年になると確信しています。

一方 世界に目を向けると自国第一主義による国民を分断する国、生活習慣や経済に端を発した国民を弾圧し 生きづらい生活を強いられている姿を見ると 改めて平和の尊さを考えさせられる年の初めであります。

今年七月には 人々が競い 思いやりのある平和の祭典オリンピック・パラリンピックが開催されます 必ずや 日本から明るい未来 世界が見えてくると思います。

この大きな節目の新年にあたり、人と人との繋がりを大事にする私たち 戦没者遺族会が、戦争の悲惨さ 戦没者の慰霊と平和の尊さを後世に伝える戦没者追悼式・拝礼式に明るく元気な姿で集い、あの戦争の史実と教訓を風化させることなく、二度と戦争を起こしてはならないという決意を我々後継者が中心となつて 若い世代に確実に語り継ぎ 永遠なる平和と繁栄、心豊かな社会を築くため一層の努力を尽くしますことを固くお誓いいたします。

結びに 戦没者の皆様のご冥福とご遺族のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。追悼のごとばと致します。

令和三年一月十五日

一般財団法人 東京都遺族連合会

会長 宇田川 劔雄